



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

令和2年 10月23日

本資料の発表をもって解禁

環境保全措置及びモニタリング年次報告(平成31年／令和元年)を公表します
「大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み」

「大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み」に基づき、平成31年及び令和元年に実施した環境保全措置及びモニタリングの結果を、令和2年10月23日に事務所ホームページで公表します。

工事にあたっては、粉じん等、窒素酸化物、建設機械・工事用車両の騒音・振動、水質、植物、廃棄物等の環境保全措置を実施し、粉じん等のモニタリングを行った結果、概ね管理基準値を満足していることを確認しました。

信濃川河川事務所ホームページ

アドレス：<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/bunsui/about/monitoring.html>

大河津分水路の改修事業実施にあたっては、環境に配慮しながら進めていくため、大河津分水路完成後に形成された自然環境を把握するための周辺環境調査を実施したとともに、工事及び地域の特性に基づいた必要な調査、予測、評価及び環境保全措置等の検討を実施し、平成28年11月に「大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み」を公表したところです。

また、分水西部地区における掘削土処理工事の実施にともない、「環境保全への取り組み」の追補版を作成しましたので、あわせて公表します。

環境保全措置の一例

騒音、振動の発生を抑制するため、仮囲いの設置、低騒音型建設機械・低振動型建設機械の採用を行いました。



仮囲いの設置



低騒音型建設機械の採用

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、長岡市記者会、長岡地域記者会、三条市記者室、十日町市記者クラブ、小出郷新聞、小千谷新聞、越南タイムス、FMゆきぐに、エフエム魚沼、建設業界向け専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門職 平塚 洋一郎
電話：0258-32-3020(内線216)